

平成25年度 中津市社会福祉協議会 事業報告書

■主な事業概要

当社協の方向性を示す「第2次中津市社協発展・強化計画」を、平成25年10月に策定することができました。

第1次計画の基本理念『心とこころ・人とひととの“つながり”』を継承し、新たに5年後の中津市社協像として「住民と共にある社協」～福祉の里へ～を達成目標として位置づけを行いました。この目標を計画的に取り組むことにより、市民の皆様が安心して地域で暮らし続ける事が出来る社会を実現させ、住民にとって身近な社協となり、より一層「信頼される社協」を目指しています。

今日の複雑多様化する福祉課題や個々の生活課題を、迅速かつ的確に捉え総合的に対応できる窓口として、地域福祉課に生活相談支援係を新設し、生活福祉資金の貸付業務や地域包括支援センター及びあんしんサポートセンターなどが連携し、多様な生活相談に取り組みました。

また、権利擁護に関する取り組みとして、判断能力が十分ではない高齢者や障がいのある方に対する権利擁護のための「福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートセンター事業）」の利用者は年々増加しています。

こうした中で、市民による成年後見制度への理解と住民参加を促す「市民後見人養成講座」を県内で初めて実施し10名の方々が修了されました。また、平成26年1月から当社協が成年後見人となる法人後見事業を県内社協に先駆け立ち上げ、受任体制や市民後見人のフォローアップ体制を整えたところです。

次に、住民主体の寄合いの場やネットワーク協議会の新規立ち上げの支援を行い、寄合いの場として新たに7か所が立ち上げを行い66ヶ所となり、地域の中でお互いに支え合える地域力が高まってきました。こうした活動を支える地域福祉人材の育成を目的に、特に高齢化が進む耶馬溪地区・山国地区において福祉ボランティア専門研修講座を9回実施し37名の方に参加して頂き、活動の一役を担う人材が育っています。

そして、災害にも強い地域づくり活動支援の一環として、「大分県災害時要援護者支援対策事業」を活用し、要援護者を含めた総合的な合同避難訓練を山国の中摩4地区において160名が参加する中で実施し、防災行動力の向上に繋げることができ、日常の見守り体制や安否確認の必要性を再認識しました。

介護保険事業に関しましては、平成24年度の災害の影響は徐々に回復しましたが、特に通所介護サービスの利用者数が伸び悩む中で、利用者の希望に沿った利用時間の見直しや理学療法士を配置し、サービスの質の向上を図ってきました。

また、特別養護老人ホーム「やすらぎ荘」も利用者の増を図る等の経営努力につとめると同時に、地域の防災拠点としての機能強化を図るため、地域の方々と共に山国川の増水による水害を想定した避難訓練を行い、意識の高揚を図ることができました。

さらに、平成26年10月から養護老人ホーム「豊寿園」の指定管理者制度による受託を中津市より採択していただいたことにより、新たな地域福祉の拠点として取り組んでいくことで、今後も、より一層の

1. 理事会・評議員会

中津市社会福祉協議会の運営にあたり、理事会・評議員会・監事会を開催しました。
提案された議案については、原案どおりすべて承認されました。

[理事会の開催]

第 1 回 平成 25 年 5 月 28 日 (火) 10 時 00 分から 会場 中津市教育福祉センター 多目的ホール

第 1 号議案 平成 24 年度事業報告書について

第 2 号議案 平成 24 年度収支決算報告書について

(監査報告)

第 3 号議案 平成 25 年度第 1 次補正予算 (案) について

第 4 号議案 定款の一部変更について

第 5 号議案 評議員の選任について

第 2 回 平成 25 年 10 月 1 日 (火) 10 時 00 分から 会場 中津市教育福祉センター 多目的ホール

第 1 号議案 平成 25 年度第 2 次補正予算 (案) について

第 2 号議案 役員・評議員選任規程の一部追加・変更について

第 3 号議案 積立金設置・運営規程の設置 (案) について

第 4 号議案 第 2 次発展・強化計画 (案) について

第 3 回 平成 25 年 12 月 17 日 (火) 10 時 00 分から 会場 中津市教育福祉センター 多目的ホール

第 1 号議案 養護老人ホーム「中津市豊寿園」の応募について(指定管理制度による)

第 2 号議案 評議員の選任について

第 4 回 平成 26 年 2 月 7 日 (金) 10 時 00 分から 会場 中津市教育福祉センター 多目的ホール

第 1 号議案 平成 25 年度第 3 次補正予算 (案) について

第 2 号議案 評議員の選任について(定款変更 評議員 41 名→35 名)

第 3 号議案 定款の一部変更について

第 5 回 平成 26 年 3 月 25 日 (火) 10 時 00 分から 会場 中津市教育福祉センター 多目的ホール

第 1 号議案 評議員の選任について

[評議員会の開催]

第 1 回 平成 25 年 5 月 28 日 (火) 14 時 00 分から 会場 中津市教育福祉センター 多目的ホール

第 1 号議案 平成 24 年度事業報告書について

第 2 号議案 平成 24 年度収支決算報告書について

(監査報告)

第 3 号議案 平成 25 年度第 1 次補正予算 (案) について

第 4 号議案 定款の一部変更について

第 2 回 平成 25 年 10 月 1 日 (火) 14 時 00 分から 会場 中津市教育福祉センター 多目的ホール

第 1 号議案 平成 25 年度第 2 次補正予算 (案) について

第 2 号議案 第 2 次発展・強化計画 (案) について

第 3 回 平成 25 年 12 月 17 日 (火) 14 時 00 分から 会場 中津市教育福祉センター 多目的ホール

第 1 号議案 養護老人ホーム「中津市豊寿園」の応募について

第 4 回 平成 26 年 2 月 7 日 (火) 14 時 00 分から 会場 中津市教育福祉センター 多目的ホール

第 1 号議案 平成 25 年度第 3 次補正予算 (案) について

第 2 号議案 理事の選任について(定款変更 理事 20 名→17 名)

第 3 号議案 定款の一部変更について

第 5 回 平成 25 年 3 月 25 日 (火) 14 時 00 分から 会場 中津市教育福祉センター 多目的ホール

第 1 号議案 理事・監事の選任について

[監査会の開催]

平成 25 年 5 月 9 日 (火) 14 時 00 分から 中津市教育福祉センター 中会議室 AB

結果：事業状況、収支決算状況とも特に指摘事項なし

2. 会費、寄付金及び共同募金

社会福祉協議会の事業運営にあたり、その主な財源をなす寄附金及び募金収入の概要は次のとおりです。

1) 会費 (会員)

一般会費	4,870口	4,869,500円
特別会費	132口	660,000円
合計	5,002口	5,529,500円

(単位:円)

地区	一般会費		特別会費	
中津	—	—	132口	660,000円
三光	1,480口	1,479,500円	0口	0円
本耶馬溪	1,064口	1,064,000円	0口	0円
耶馬溪	1,433口	1,433,000円	0口	0円
山国	893口	893,000円	0口	0円
計	4,870口	4,869,500円	132口	660,000円

2) 寄付金

香典返し	375件	13,526,000円
一般寄附	46件	577,776円
災害寄付	11件	995,337円
合計	432件	15,099,113円

(単位:円)

地区	香典返し		一般寄附		災害寄付	
中津	192件	6,233,000円	21件	309,842円	10件	695,337円
三光	46件	1,275,000円	13件	113,515円	0件	0円
本耶馬溪	43件	1,625,000円	2件	10,000円	0件	0円
耶馬溪	53件	2,733,000円	7件	93,102円	0件	0円
山国	41件	1,660,000円	3件	51,317円	1件	300,000円
計	375件	13,526,000円	46件	577,776円	11件	995,337円

3) 物品寄付

洗濯機	3台
電子レンジ	1台
電動ベッド一式	4台
車イス	5台
手提げ金庫	1個
竹ぼうき	1本
中津かるた	12箱
全自動血圧計	1台
タオル	75枚
ドライヤー	2台
割り箸	600膳
ポータブルトイレ	1台
物品寄付額 (相当額)	1,031,850円

4) 中津市共同募金委員会への協力

赤い羽根共同募金	21,220件	8,839,770円
歳末たすけあい募金	21,334件	6,259,095円
合計	42,554件	15,098,865円

(単位:円)

募金種類	赤い羽根共同募金		歳末たすけあい募金	
戸別募金	20,725件	8,641,474円	20,726件	3,771,006円
街頭募金	0件	0円	6件	102,457円
法人募金	1件	35,560円	589件	2,302,966円
職域募金	480件	158,450円	0件	0円
イベント募金	0件	0円	1件	38,383円
個人募金	0件	0円	0件	0円
その他募金	12件	4,100円	12件	44,283円
預金利息	2件	186円	0件	0円
計	21,220件	8,839,770円	21,334件	6,259,095円

[戸別募金内訳]

地区	赤い羽根共同募金		歳末たすけあい募金	
旧中津市内	15,764件	6,559,086円	15,764件	2,878,374円
三光	1,525件	640,220円	1,527件	274,740円
本耶馬溪	1,089件	457,380円	1,088件	195,840円
耶馬溪	1,444件	605,528円	1,444件	259,512円
山国	903件	379,260円	903件	162,540円
計	20,725件	8,641,474円	20,726件	3,771,006円

・大分グルメ散歩募金（大分県共同募金事業）308品（163,090円）販売の内、35,560円を募金協力頂きました。

5) 中津市共同募金委員会への協力（災害義援金）

東日本大震災	6件	87,126円
秋田・岩手・島根県大雨災害	3件	2,145円
伊豆大島等台風26号災害	1件	1,580円
合計	10件	90,851円

3. 住民主体による小地域ネットワークの推進

1) 寄り合いの場支援

介護予防・交流・関係づくりを目的に行われている住民主体の寄り合いの場活動として支援。

(全地域で支援を行っています。)

中津市全体	66カ所	寄り合いの場の種類・新規内訳
地域サロン	4カ所	地域の中の民家や空き家等を活用し、開催回数も週単位で、日常生活に密着した活動
ミニデイサービス	7カ所	小・中学校の範囲で、いきいきサロンの広域版である「交流型」と生きがいややりがいをテーマとした「活動型」
いきいきサロン	55カ所	自治区や集落等の小地域で、高齢者等を対象にしながら、住民同士の交流の場として実施

・内新規分 7ヶ所（南部）小祝サロン、（北部）なぎさサロン、（沖代）サロンひまわりの種、（耶馬溪）長岩サロン、天満サロン、不動岩サロン、OKサロン

2) 地域福祉ネットワーク協議会構築支援

地域の社会資源や人材のネットワークを図り、住民一人ひとりが主体的に地域の社会福祉に参加・協力しながら、地域の身近な「支えあい・助け合い」活動を支援。

○地域福祉ネットワーク協議会の組織状況（地区内の地域福祉推進活動）

No.	校区 地区	組織名称（校区ネット）	発足 年月日	定例会	事務局会 議等	校区 ネット	小地域 ネット	25年度の主な動き	以前より継続している動き
1	南部	南部地区ネットワーク協議会ぽけっと	平成18年 10月 ↓ 平成24年 4月	随時	第1火曜日	1	0	・新規サロン立ち上げ検討 ・防災についての研修会 (2/18:参加者50名)	・情報紙の発行 ・金谷鶴亀サロンの支援 ・ネットワーク総会、研修会 ・コーディネーターの設置（毎週土曜日）
2	北部	(未定)				-	-	・蛸瀬（東・西）地区自主防災会議（2ヶ月に1回）	・寄り合いの場、協議体のあり方を検討

3	小楠	(未定)				-	-	・西大新田自主防災について説明(5/26) ・新築されてコミュニティーセンターを拠点等したサロンについての検討	・計画作業部会員有志をベースとした、ネットワーク立ち上げについて検討
4	豊田	「生き活き・豊田」	平成22年12月	随時	随時	1	6	・宮永4丁目防災訓練実施(10/20:参加者120名) ・6地区主体に必要な活動への取り組み	・ネットワーク総会 ・校区内を6地区の合議体として必要な活動への取り組み ・ふるたさん家立ち上げ
5	沖代	沖代校区ネットワーク協議会(事務局:あいがも)	平成18年9月	随時	第4水曜日	1	0	・ネットワークに新たな構成員として2団体+郵便局長(防災士) ・地域の文化財を知る研修会(9/10:参加者30名) ・ネットワーク協議会のHP開設	・情報紙の発行(特派員制度の開始) ・ネットワーク総会、研修会 ・コミュニティーセンター運営 ・コーディネーター設置(毎週水曜日)
6	鶴居	(鶴居校区ネットワーク協議会:準備中)		随時	第2火曜日(2月1回)	-	-	・ネットワーク化に向けて事務局体制、機能確立への話し合い ・新規サロンの立ち上げ検討 ・見守り活動の組織化についての検討	・作業部会員を中心にネットワークについて協議 ・事務局員6名の選出 ・万田絆の会(いきいきサロン)立ち上げ
7	大幡	大幡福祉の会“輪”	平成20年1月	月1回	随時	1	0	・地域福祉研修会開催(7/10:参加者61名) ・黒水地区に寄り合いの場立ち上げの動き ・世代間交流イベント開催(8/25)	・月1回の定例会により、地域福祉活動計画の推進を図る ・地域福祉研修会 ・社会資源リスト全戸配布
8	如水	如水ふれ愛の会	平成19年2月	随時	第2火曜日	1	0	・サロン=ネットワークとなっているため、ネットワーク協議会としてのあり方を検討	・如水サロンふれ愛の支援
9	三保	(未定)				-	-	・小地域活動の展開検討	・H23.4以降、地域福祉活動計画作業部会で検討
10	和田	(和田福祉部会:準備中)		第2木曜日(2月1回)	随時	-	-	・2ヶ月に1回定例会開催 ・情報紙発行についての検討	・作業部会員有志で「和田地区地域福祉部会(仮称)」発足*偶数月で開催 ・田尻地区いきいきサロン支援
11	今津	福祉の郷「いまづ」	平成21年1月	奇数月	随時	1	0	・7地区ごとに自主防災組織の検討 ・大野城市視察研修受け入れ(9/10) ・ダイハツ避難所見学(12/4) ・日田市三花地区視察(2/18) ・豪雨災害を想定した図上訓練(3/9:参加者90名)	・防災をテーマにした地域づくり ・視察の受入 ・災害対策、自主防災組織についての研修
12	三光	(ふくしの里“やま” :準備中)			随時		15	・ネットワーク準備会(5/17) ・ネットワーク規約検討 ・小地域ネットワーク会議開催(8/1~)	・15校区の小地域ネット会議(年2回) ・ネットワークの準備として事務局体制づくり
13	本耶馬溪	(ふれ愛ネットワーク推進委員会)					17	・自治委員会議にて、ふれ愛ネットワーク活動の意義や役割について説明(8/28) ・ふれ愛ネットワーク推進委員会(3/20)	・防災をテーマにした地域づくり ・視察の受入 ・災害対策、自主防災組織についての研修
14	耶馬溪	耶馬溪町地域見守りネットワーク協議会		随時	随時		12	・耶馬溪町地域見守りネットワーク協議会代議員会(9/3) ・視察受入 ・各地区で防災訓練実施	・12地区単位で見守り活動、代表の情報交換会実施(当初13地区でスタート) ・耶馬溪町地域見守りネットワーク協議会
15	山国	源流の郷やまくに福祉の会	平成22年10月	随時	随時		0	・第2回ネットワーク会議(9/6) ・山国住民アンケート「山国地域の未来を考えるアンケート」の実施(10/1~) ・中摩地区避難訓練(12/1:参加者160名) ・アンケート集計、分析	・4地区単位を基本に活動を展開 ・H23.4~の溝部地区寄り合いの場“たいしょう陣”開催 ・買い物支援事業への理解

※他の地区でも地域福祉推進活動は進んでいます。社協は地域福祉推進活動や協議会の支援を行っています。

3) 災害にも強い地域づくり活動支援

『災害にも強い地域づくり』を目指し、地震による災害を想定した発生対応型訓練を実施することにより、住民一人ひとりの防災に関する意識の高揚と防災行動力の向上と安否確認機能（見守り体制の強化）を図ることを目的。

①各地区での活動支援

対象地区	実施内容	期日	参加者数	備考
耶馬溪城井（町丈）	防災訓練	平成25年5月11日	30名	
耶馬溪城井（上戸原）	防災教室	平成25年6月2日	32名	
耶馬溪下郷（島集落・下郷学校）	防災教室	平成25年6月24日	40名	新規
耶馬溪城井（上宮ノ馬場）	防災教室	平成25年7月3日	35名	
三光上田口	避難訓練	平成25年7月14日	60名	新規
耶馬溪城井（口の林）	防災教室	平成25年8月4日	35名	
豊田上宮永4丁目	避難訓練	平成25年10月20日	120名	新規
耶馬溪城井（下戸原）	防災教室	平成25年10月26日	17名	
耶馬溪深耶馬溪（不動岩集落）	防災教室	平成25年11月16日	13名	新規
今津校区全体	図上訓練	平成26年3月9日	90名	
耶馬溪津民（大野中央集落）	防災訓練	平成26年3月31日	20名	

②平成25年度災害時要援護者支援対策モデル事業（新規）

九州北部豪雨災害を教訓に、災害時要援護者の支援対策を推進するため、地域における平常時の支え合い・助け合いを元に、地域住民による地域住民のための災害時要援護者の具体的な支援策を盛り込んだ災害時行動計画の策定及び避難訓練の実施を支援する。

- ・対象地区：山国町中摩4地区（犬王丸地区・中摩上地区・中摩下地区・白地地区）
- ・地域会議の開催：7回
- ・合同避難訓練：平成25年12月1日（日）9時～13時 参加者：160名

4) 各種団体等助成金交付事業

市内において社会福祉を目的として、各種団体やボランティアグループ等が実施する様々な社会福祉貢献活動や事業に対して助成金の交付を行う事業

区分	件数	助成額	助成内容
住民型有償サービス活動助成	3件	360,000円	住民主体の在宅福祉サービス（家事援助・身体介護等）団体への活動助成
小地域福祉活動助成	29件	2,255,400円	見守り活動及び交流活動を行うために、自治区単位で組織されている団体への活動助成
地域福祉推進活動助成（市）	7件	816,000円	地域の福祉課題の解決を目指すべく組織された地域福祉ネットワーク協議会への活動助成
地域福祉推進活動助成（歳末）	7件	350,000円	地域の福祉課題の解決を目指すべく組織された地域福祉ネットワーク協議会への運営助成
ボランティア活動助成	51件	1,530,000円	会員が自発的に明確な意思・目的をもって結成し、活動している団体への活動助成
寄り合いの場活動助成	58件	2,181,000円	地域の寄り合いの場（地域サロン等）への活動助成
一般公募助成	6件	998,000円	高齢者・障がい者（児）・子ども・防災など事業への助成（1団体上限30万円）
公民館助成	15件	225,000円	校区（地区）公民館を対象に、地域福祉の拠点や活動の連携を図る目的として助成
民生委員児童委員活動助成	15件	1,123,200円	赤い羽根共同募金（企業募金）実績に基づき助成
自治委員活動助成	15件	1,899,696円	赤い羽根共同募金と歳末たすけあい募金（戸別）実績に基づき助成
ボランティア推進校助成	11件	330,000円	小中高学校が取り組む福祉活動・ボランティア活動に対する助成
合計	217件	12,068,296円	

4. 相談機能の強化による在宅福祉サービスの充実

1) 障がい者福祉サービス事業

障がいをもつ方に対して、ホームヘルプサービスを実施。

①身体障がい者居宅介護事業

延利用者数	延利用回数	延活動時間数
80名	1,028名	1,304時間
本耶馬溪 44名	本耶馬溪 460名	本耶馬溪 639時間
耶馬溪 36名	耶馬溪 568名	耶馬溪 665時間

②知的障がい者居宅介護事業

延利用者数	延利用回数	延活動時間数
13名	157名	157時間
耶馬溪 13名	耶馬溪 157名	耶馬溪 157時間

③精神障がい者居宅介護事業

延利用者数	延利用回数	延活動時間数
12名	257名	257時間
本耶馬溪 12名	本耶馬溪 257名	本耶馬溪 257時間

④同行援護事業

延利用者数	延利用回数	延活動時間数
147名	373名	550時間
本耶馬溪 124名	本耶馬溪 248名	本耶馬溪 425時間
耶馬溪 23名	耶馬溪 125名	耶馬溪 125時間

2) 移動支援事業

自宅に引きこもりがちな障がい者をもつ方の外出を支援するサービス。

延利用者数	42名	延利用回数	119名	延活動時間数	282時間
本耶馬溪	42名	本耶馬溪	119名	本耶馬溪	282時間

3) 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートセンター中津）

認知症等高齢者や知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方を対象に、日常生活を営むのに必要なサービスを利用するための情報の入手、理解、判断、意思表示を適切に行えるよう支援を行う。

・相談受付対応件数 2,937件

内 訳

- ・初回相談受付・問い合わせ対応
- ・契約締結までの間の訪問、支援計画の作成、連絡調整
- ・利用開始後の相談対応
- ・その他、総合的な相談対応等

・新規契約 30件 ・解約者 12件

契約者数 (3/31現在) 51名

内 訳	居住エリア別		居住状況別		世帯経済状況別		年齢別		障がい種別	
	中津	31名	在宅	29名	生活保護	14名	65歳以上	35名	認知症	34名
三光	7名	施設	17名	非課税	35名	40～64歳	11名	知的障がい	12名	
本耶馬溪	2名									
耶馬溪	7名	病院	5名	課税	2名	39歳未満	5名	精神障がい	5名	
山国	1名									
その他※	3名									

※…契約している方が宇佐・高田・豊前の施設等に一時的に入所・入院

・生活支援員登録数 9名

4) 障がい児長期休暇支援事業(さんぽ)

市の受託事業として、障がい児の健全育成、夏休みの長期休暇時の預かりによる家族の介護負担の軽減と市民の障がい児への理解と人材育成を目的とした支援事業。

・延利用者数 255名 ・延参加者数 338名

開催日数	21日
利用者数	26名
ボランティア	270名
スタッフ会議開催	2回

5) 障がい児(者)余暇活動支援事業(てくてく)

市の受託事業として、余暇を充実して過ごすための活動の場を提供することで、障がい児者の心身の健康増進と自立のための能力の獲得を目的とした支援事業。

・延利用者数 148名 (内きょうだい児 58名)

・延参加者数 72名

開催回数	11日
利用者数	39名
ボランティア	30名

6) 福祉用具貸出事業

在宅の寝たきり老人や障がい者等に対して、介護機器を貸与し、介護者の負担を軽減するなど、在宅生活の便宜を図る。

【電動ベッド】

・貸出総数 188台

・保有台数 193台

新規

中津	11件
三光	5件
本耶馬溪	5件
耶馬溪	9件
山国	3件
計	33件

【車椅子】

・貸出総数 136台

・保有台数 165台

新規

中津	96件
三光	2件
本耶馬溪	7件
耶馬溪	3件
山国	14件
計	122件

H26. 3. 31現在

7) 総合相談支援事業

(1) 心のケア事業（ほっとテラス）

医師・心理カウンセラーによる、住民の抱える不安や福祉ニーズへの対応、また、家族関係・人間関係など各種相談に応じる専門相談事業。

担当	相談形式	相談開設回数	相談者数
橋本 眞子医師（精神科医）	毎月第2水曜午後、原則2名までの相談を、予約により受付ける	6回	10名
松尾 浩氏（心理カウンセラー）	第2・4水曜、教育福祉センターとやすらぎ荘を拠点に相談を受付ける	26回	94名

(2) 総合相談受付

平成25年度より生活相談支援係が設置されたことによる各種相談受付業務

相談受付件数計		82件
内訳	生活困窮	22件
	権利擁護	5件
	子育て	5件
	介護	16件
	障がい	5件
	その他	29件

※話し相手、市内の福祉状況問合せ、相談窓口問合せ等

8) 見守りふれあい事業

各種団体や小中学校と連携し、一人暮らし高齢者（高齢者夫婦世帯）に対して、手紙や配食を通じて安否の確認を含めて実施。

1) ふれあい郵便事業

対象者数	415名	発送部数	1,325通
耶馬溪	250名	耶馬溪	500通（年2回）
山国	165名	山国	825通（年5回）

2) ふれあい配食事業

対象者数	325名	配食数	893食
本耶馬溪	185名	本耶馬溪	233食（年1回）
山国	140名	山国	660食（年4回）

9) 介護保険事業

①介護老人福祉施設事業

「常によりよい介護サービス・福祉サービスの提供を！」をモットーに、65歳以上で身体や精神上的の障害のため常に介護が必要で、在宅での介護が困難な人が対象の事業となります。特に食事、排せつ、入浴など日常生活の介助や健康管理・リハビリ・療養上のケアなどを受けながら有意義な日々を送っていただいております。

（本入所）・・・定員 80名

サービス 実施状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	365日
	実人数	80人	80人	81人	82人	81人	80人	81人	81人	80人	80人	81人	82人	969人
延べ人数	2,391人	2,466人	2,371人	2,460人	2,447人	2,372人	2,459人	2,326人	2,464人	2,466人	2,177人	2,264人	28,663人	

②短期入所生活介護事業

冠婚葬祭や旅行などで介護ができないときに利用したり、介護疲れを防ぐために定期的に利用することができます。食事や入浴、排泄など日常生活の世話やレクリエーション、リハビリなどが受けられます。

（短期入所）・・・定員 20名

サービス 実施状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	365日
	実人数	25人	26人	26人	22人	26人	30人	24人	25人	31人	29人	26人	27人	317人
延べ人数	299人	368人	409人	330人	460人	411人	343人	371人	374人	375人	375人	375人	4,490人	

③訪問介護事業

要支援者及び要介護者に対して、ホームヘルプサービスを実施。

実利用者数	141名	延利用回数	14,174回	延訪問時間	13,090時間
本耶馬溪	29名	本耶馬溪	4,317回	本耶馬溪	3,699時間
耶馬溪	112名	耶馬溪	9,857回	耶馬溪	9,391時間

④通所介護事業

要支援者及び要介護者に対して、デイサービスを実施。

(通常型) 開設日数	1,214日	日/年	実利用者数	325名	延利用人数	23,007名
三光	304日		三光	51名	三光	4,529名
本耶馬溪	304日		本耶馬溪	74名	本耶馬溪	5,194名
耶馬溪	303日		耶馬溪	93名	耶馬溪	5,905名
山国	303日		山国	107名	山国	7,379名
(認知症型) 開設日数	276日	日/年	実利用者数	13名	延利用人数	923名
本耶馬溪	276日		本耶馬溪	13名	本耶馬溪	923名

⑤訪問入浴介護事業

要支援者及び要介護者に対して、訪問入浴サービスを実施。

実利用者数	16名	延利用回数	581回
三光	11名	三光	459回
耶馬溪	5名	耶馬溪	122回

⑥居宅介護支援事業

要支援者及び要介護者に対して、介護計画書を作成。

ケアプラン作成件数	4,135日	件/年
本耶馬溪	1,614日	
耶馬溪	1,138日	
山国	1,383日	

10) 生きがい活動支援通所事業

在宅の要支援高齢者や身体障がい者で自立の困難な者に対して、自立的生活の助長、社会的孤立感の解消、心身維持向上などを図るとともに、その家族の身体的・精神的負担の軽減を図る。

延利用者数	1,116名	延利用回数	3,989回
三光	320名	三光	1,201回
本耶馬溪	70名	本耶馬溪	256回
耶馬溪	542名	耶馬溪	1,914回
山国	184名	山国	618回

11) 軽度生活援助員派遣事業

ひとり暮らし高齢者等に対して、身の回りの世話や介護の援助を行い利用者の生活支援や健康維持を図る。

延利用者数	200名	延利用回数	766回	延活動時間数	979時間
本耶馬溪	52名	本耶馬溪	210回	本耶馬溪	347時間
耶馬溪	148名	耶馬溪	556回	耶馬溪	632時間

12) 高齢者生活福祉センター事業

高齢者に対して、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供し、高齢者が安心して健康で明るい生活が送れるよう支援。

利用者数	48名	短期入所利用者数	6名
本耶馬溪	14名	本耶馬溪	2名
耶馬溪	11名	耶馬溪	0名
山国	23名	山国	4名

13) 地域包括支援センター事業

24年度末で統括支援センターの機能が市に移管されたことにより、25年度より新たに「地域包括支援センター社協」として、三光・本耶馬溪・山国エリアを担当

(1) 包括的支援事業

① 総合相談支援業務

高齢者が、住み慣れた地域で安心して生活ができるようさまざまな相談に応じる

相談件数	3,278件
------	--------

② 権利擁護業務

高齢者が尊厳を持って生活できるように、虐待や困難事例への対応及び成年後見制度の活用を行う

対応件数	721件
------	------

③介護予防ケアマネジメント業務（二次予防高齢者）

高齢者が本人の力でできるだけ生活していけるよう、実態を把握し、二次予防サロンへの参加により、介護予防へとつながる計画作成・評価等一連の支援

相談対応件数	823件
二次予防対象者把握件数	133件
介護予防サービス計画作成件数	132件
二次予防 介護予防事業参加者数	132人
評価件数	130回

※認定非該当者4名・本人及び家族からの相談125名・医療機関からの情報4名
 ※介護予防サロン対象者に対する計画作成

④包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域のケアマネへの指導助言や多職種連携によるケアマネジメント体制を作る

・ケアマネからの相談受付・指導助言	195件
・ケアマネとの連絡会議（居宅連絡会）	3回
・多職種連携での対応、会議等	158回

(2)介護予防事業普及啓発事業

高齢者を介護している方や地域支援者等 一般住民に対して、介護・福祉サービスや介護予防について普及啓発のために教室を開催

・ 実施回数	4回
・ 延利用者数	224名

(3)介護予防支援業務（介護保険）

要支援1.2の方に対する介護予防サービス計画作成に関する業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	371件	373件	371件	448件	346件	347件	386件	463件	425件	426件	367件	377件	4,700件
作成件数	173件	171件	167件	164件	164件	159件	164件	161件	161件	162件	155件	162件	1,963件

(4)各種調査業務

①「食」の自立支援事業実態調査 調査件数	13件
② 生きがい活動支援通所事業実態調査及び相談	13件
③ 軽度生活援助員派遣事業実態調査及び相談	3件
④ 緊急通報用電話貸与事業実態調査及び相談	31件
⑤ 老人日常生活用具給付等事業実態調査及び相談	4件
⑥ 住宅高齢者住宅改造助成事業	0件

1 4)総合相談支援センター事業

合併周辺地域総合相談支援センターとして、本耶馬溪・耶馬溪・山国エリアにおいて、障がい者・児の総合相談支援業務を行う

相談件数 1,287件 相談実人員 237人

障がい者	1,162件
その他	125件

障がい者の障がい別 内訳 1,162件

身体障がい	916件
知的障がい	26件
精神障がい	202件
高次脳機能障がい	2件
発達障がい	16件

1 5)成年後見事業

(1)市民後見推進事業

市より受託し、今後の第3者後見人としての「市民後見人」の養成及び市民への成年後見制度周知等の取り組みについて推進

①会議・研修会の開催

事業項目	回数	内容
先進地視察研修	2回	熊本県山鹿市、大分市
研修会等への参加	2回	第1回市民後見推進モデル自治体研修会（東京都）、第2回市民後見推進モデル自治体研修会（東京都）
市民後見推進協議会会議	3回	関係機関や専門家の方々による事業推進の協議会を発足し会議を開催。第3回：平成25年4月19日、第4回：8月8日、第5回：3月14日（回は前年度から継続）
市民後見推進シンポジウム	1回	6月22日 市民後見人の役割と活動を紹介。160名参加
事業実施のための会議等	9回	社協内会議5回（事務局会議2回、担当者会議3回）、市担当者との会議4回
視察の受入	1回	臼杵市社協より、市民後見人養成に関する事業内容及び法人後見事業との関連性についての研修

②市民後見人養成講座の開催

市民同士で支え合う仕組みのひとつとして、成年後見制度に関わる人材の育成を図る

- ・講座開催回数（合計単位数） 12回（60単位） ※1単位＝1時間
- ・受講者数 15名
- ・修了者数 10名

※修了者のうち市民後見人候補者としての市への登録者数 10名

(2) 法人後見事業

平成25年10月から法人後見事業検討会議を設置し、事業実施に向けた取り組みを協議。

平成26年1月1日より法人後見事業を開始する。

事業項目	回数	内容
法人後見事業検討会議	3回	専門職の方々による事業実施のために検討会議を開催 第1回：平成25年10月21日、第2回：11月18日、第3回：12月13日
実務研修	1回	法人後見事業を先進的に取り組んでいる社協で職員が実務を経験する。 受入先：やまが成年後見センター 参加者数：2名
受任調整委員会の実施	1回	専門職等有識者による受任調整会議を設置・開催し、法人後見事業で受任する事案について協議する。 第1回：平成26年1月14日

16) 介護保険要介護認定調査事業

被保険者からの要介護認定申請に基づき、認定調査員が自宅もしくは施設へ訪問し、対象の方の心身の状況などを調査する業務
調査件数 3,343 件/年

17) 放課後児童クラブ事業

就学する低学年の児童に対して、授業の終了後における適切な保護及び健全な育成を図る。

年間実施日数	登録児童人数	延利用児童人数
1,441日開設	113名	16,502名
真坂 288日	真坂 31名	真坂 5,838名
山口 289日	山口 13名	山口 1,657名
秣 288日	秣 20名	秣 3,125名
樋田 288日	樋田 28名	樋田 2,964名
城井 288日	城井 21名	城井 2,918名

5. 多様な人材による地域活動の推進

1) みんなのふくしまつり開催事業

市内の子どもから高齢者まで楽しみ、地域に身近なボランティア市民活動や地域のさまざまな活動に触れて頂き、世代や障がいを超えた市民の参加と交流（つながり）を目的として「第5回 みんなの”ふくしまつり”」を実行委員会形式で開催。

[実施日時] 平成25年11月17日（日）午前10時から午後2時まで

[参加者数] 約 1,200 名（一般参加者 1050名＋ボランティア等関係者 150名）

[実行委員会開催数] 各種団体代表 18名の構成メンバーにより、計5回の実行委員会を開催。

- [内 容]
- 1、アトラクション 7 団体
 - 2、バザー・屋台コーナー 24 団体
 - 3、参加体験・見るコーナー 15 ブース
 - 4、その他（抽選会、共同募金受付等）

2) 生活福祉資金貸付事業

低所得者や障がい者世帯に対し、経済的自立と生活意欲の助長促進を図り、安定した生活が営めるよう資金面の支援と、相談等を行う事業。申請の9割が緊急小口資金という現状。

資金種類		相談延件数	申請件数	決定	決定金額
総合支援資金	生活支援費	16	0	0	0円
	住居入居費	7	0	0	0円
	一時生活再建費	2	0	0	0円
福祉資金	福祉費	10	3	3	297,000円
	緊急小口資金	201	28	28	2,326,000円
教育支援資金	教育支援費	3	0	0	0円
	就学支度費	8	0	0	0円
不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	0	0	0	0円
	要保護世帯向け不動産担保型生活資金	0	0	0	0円
臨時特例つなぎ資金		3	0	0	0円
合 計		250	31	31	2,623,000円

3) 住民参加型有償サービス事業

自助・互助の精神を基調とした地域の“ボランティア的な”意識を持たれた人々と、低額有料（非営利）のサービスを必要として在宅で自立した生活を営む人々などが、地域に暮らす住民の構築をひとりひとりがお互いに助け合う社会を目指し、地域福祉の向上に寄与することを目的として実施しました。

[社協運営] 登録者数

協力会員	38名	延利用回数	750回
三光	7名	三光	299回
本耶馬溪	9名	本耶馬溪	29回
耶馬溪	13名	耶馬溪	236回
山国	9名	山国	186回

利用会員	67名	延利用時間	929時間
三光	13名	三光	305時間
本耶馬溪	9名	本耶馬溪	34時間
耶馬溪	15名	耶馬溪	355時間
山国	30名	山国	235時間

[団体運営への支援]

家事援助・子育て支援等、さまざまな地域の福祉ニーズに対し、住民同士の支え合いとして行なっている住民型有償サービス団体への支援を通して、住民が行う個別援助への支援及び活動の強化を行う

団体…沖代どんぐりサービス・大幡まこもサービス・北部えがおサービス 計3団体

支援項目	説明	支援内容
住民型有償サービス団体支援	相談支援・マネジメント等が継続的に進めるための支援	120,000円×3団体
ネットワーク協議会総会開催支援	年1回の3団体の総会開催の支援	1回
ネットワーク協議会研修会開催支援	団体のスタッフ（協力会員）スキルアップの研修開催支援	2回
ネットワーク協議会理事会支援	役員会に参加し、課題共有と支援の方向性を検討	5回
相談受付・コーディネート※	住民からの相談に応じて有償サービスへの調整	20回

※内訳

- 子育て支援・病児保育
- 精神障がい者の家事支援
- 障がい児保育
- 高齢者の家事支援・外出介助等

6. 福祉意識の高揚・啓発及び育成

地域福祉の情報提供により、社会福祉協議会の事業紹介、福祉及びボランティア意識の育成並びに活動啓発のため広報紙を発行。

1) 社協だよりの発行

名称	年間発行回数	1回の平均部数	主な配布先
社協だより なかつ	3回	33,700部	全戸
社協だより なかつ（点字版）	3回	31部	市内視覚障がいの方

2) 地域福祉情報紙の発行

地区	名称	年回数	1回の平均部数	主な配布先
三光	とんぼのめ	8回	2,000部	全戸、公共施設
本耶馬溪	にじのはし	1回	1,400部	全戸、公共施設
耶馬溪	めいぷる	2回	1,700部	全戸、公共施設
山国	かかし	12回	1,080部	全戸、公共施設

3) ボランティア情報紙の発行

ボランティア・市民活動センター	ボランティア・市民活動情報紙ぺんぎん	6回	2,500部	公共施設、自治委員、民生委員、ボランティアグループなど
-----------------	--------------------	----	--------	-----------------------------

3) 福祉教育・福祉講座の開催

No.	講座・研修名	回数	参加者	目的・趣旨
1	地域福祉講座 「買い物支援から地域活性化へ」	1回	25名	大分県ボランティア・市民活動センターの出前講座事業を活用しての開催。寄り合いの場の実践者や地域のつながりを作る活動に関わっている方々に呼びかけ、高齢化が進む現状を踏まえ、買い物支援から地域活性化へのヒントを学ぶ講座。
2	地域福祉人材育成講座 「福祉ボランティア専門研修（9回シリーズ）」	9回	37名	中津市内において、地域住民の支え合いの関係をつくる場として、「寄り合いの場（サロン）」が多く実施されているが、高齢化が進む耶馬溪地区・山国地区においては、特に活動を支える人材も高齢化していることから、サロン活動の一役を担う人材育成を目的として実施。

4) 事業所広報紙・新聞

広報紙・新聞名	年間発行回数	1回の平均部数	主な配布先
やすらぎだより	12回	120部	施設入所者の家族と関係者
ウテリー テレマカセ	12回	90部	利用者の家族と公共の施設（山国地区）
なのはな便り	11回	85部	利用者の家族と公共の施設（耶馬溪地区）
ひなぎく	12回	90部	利用者の家族と公共の施設（本耶馬溪地区）
もくれん	12回	20部	利用者の家族と公共の施設（本耶馬溪地区）
さんこうデイだより	12回	50部	利用者の家族と公共の施設（三光地区）

5) ホームページ

新鮮な地域福祉に関する情報、地域資源の紹介、社会福祉協議会の紹介などをインターネットを通じて発信。

ホームページアドレス : <http://www.nakatsu-s.or.jp/>

6) 「わいわい福祉ひろば」事業

社協内にハートプロダクションを設け、市内近郊の視覚、聴覚、肢体の障がい者及び手話や点訳ボランティア、高齢者等をタレント登録し、市内の小学校等に派遣し、生活体験の講話や疑似体験学習を通し、障がい者の理解・高齢者理解などの福祉意識の啓発を図る事業。

【年度実績】

実施校数（校）	20校
年間開催回数（回）	48回
受講者数 児童生徒（人）	2,140人
受講者数 保護者（人）	526人

【コース別】

聴覚コース	16回
視覚コース	14回
肢体コース	12回
エルダーコース	6回
合計	48回

7. 社会福祉協議会組織体制の強化

1) 職員配置状況（所属別）

平成26年3月31日現在

課		正規	嘱託	臨時	非常勤	計
総務課		8人	9人	3人	2人	22人
	一般事務	5	1	2		8
	福祉バス		1			1
	センター管理			1		1
	認定調査室	3	7		2	12
地域福祉課		19人	3人	1人	0人	23人
	一般事務	10	2			12
	ボランティア・市民活動センター			1		1
	あんしんサポートセンター	1				1
	生活福祉資金		1			1
	地域包括支援センター	8				8
福祉サービス課		43人	5人	32人	117人	197人
	一般事務	4		1		5
	三光事業所	5		6	31	42
	本耶馬溪事業所	14	2	10	30	56
	耶馬溪事業所	12	1	7	35	55
	山国事業所	8	2	8	21	39
やすらぎ荘		31人	1人	28人	11人	71人
合計		101人	18人	64人	130人	313人

2) 中津市社会福祉協議会における各種会議や研修会

[会議・各部会の開催状況]

①課長会議	年 48 回開催	・環境委員会	年 1 回開催	・通所介護部会	年 6 回開催
②エリア会議	年 40 回開催	・お食事委員会	年 3 回開催	・訪問介護部会	年 5 回開催
③係長会議	年 11 回開催	・感染症対策委員会	年 5 回開催	・居住部会	年 2 回開催
④やすらぎ荘内会議・委員会		・事故防止委員会	年 5 回開催	・調理部会	年 3 回開催
・やすらぎ運営会議	年 7 回開催	・褥瘡防止委員会	年 6 回開催		
・ケアプラン委員会	年 2 回開催	・身体拘束防止委員会	年 18 回開催	○役職員全体職員研修会	1 回開催
・給食委員会	年 3 回開催	⑤福祉サービス課内会議・部会		○管理職員研修会	1 回開催
・スッキリ委員会	年 3 回開催	・看護職員専門部会	年 6 回開催	○中間管理職研修会	2 日間
・レクリエーション委員会	年 3 回開催	・機能訓練専門部会	年 3 回開催	○社会福祉士部会 7 回開催	
・広報委員会	年 12 回開催	・生活相談員専門部会	年 3 回開催	(実習生受入れ人数：4 人)	
・マナー委員会	年 4 回開催	・居宅介護支援部会	年 6 回開催		

3) 第二次中津市社会福祉協議会発展・強化計画策定への取り組み

中津市社会福祉協議会発展・強化計画は、法人としての使命や理念、目標を明確にし、その実現に向けた事業、組織、財源等に関する具体的な取り組みを明示することにより、中津市における社会福祉の推進する団体としての役割を果たすための計画です。

平成19年に策定しました、第一次中津市社会福祉協議会発展・強化計画（平成20年度から24年度）の最終年度を迎えるにあたり、第一次での評価を踏まえ、平成25年10月に第二次（平成25～29年度）計画を策定しました。

- ①第1次発展強化評価報告会 1回 平成25年5月14日
- ②ワーキング会議 14回 平成25年5月13日～平成25年9月9日
- ③サブグループ会議 3回 平成25年7月12日、平成25年8月8日
- ④プロジェクト会議 8回 平成25年4月23日～平成25年9月10日
- ⑤検討委員会 2回 平成25年7月26日、平成25年9月18日

8. 各種地域福祉事業

1) 一人暮らし高齢者粗大ゴミ回収事業（耶馬溪）

一人暮らしの高齢者で、家族等の協力が中々得ることが困難な状況や本人では粗大ゴミを出すことの困難な方に対して、地域協力者を得ながら粗大ゴミを出すお手伝いを支援。

実施回数 2回 対象者数 30名 協力者数 9名

2) 葬祭壇無料貸出事業

葬祭具の貸出を実施

【貸出件数】

	36件
耶馬溪	6件
山国	30件

3) 祝金婚記念品贈呈事業

平成25年度に金婚を迎える夫婦に対して、記念写真及び額を贈呈。

(校区)

南部	1件	大幡	2件	本耶馬溪	12件
北部	14件	如水	2件	耶馬溪	6件
豊田	4件	三保	4件	山国	7件
沖代	6件	和田	6件		
小楠	11件	今津	0件	合計	86件
鶴居	4件	三光	7件		

4) 児童館事業（三光）

児童に健全な遊びや学習の機会を与え、児童の健全育成に資するとともに児童館の適正な運営を図った。

開館日数 261日

児童館利用者数	7,862名
就学前児童	1,204名
小学生	5,081名
中高生	610名
保護者・ボランティア	967名

5) 寝たきり高齢者見舞品贈呈事業

市内の寝たきり高齢者世帯に対して、日常生活上の在宅介護に係る負担軽減と便宜を図ることを目的として、歳末助け合い募金配分事業により、見舞い品（介護用品）を贈呈。

(校区)

南部	6名	大幡	9名	本耶馬溪	11名
北部	15名	如水	6名	耶馬溪	7名
豊田	13名	三保	6名	山国	21名
沖代	9名	和田	1名		
小楠	7名	今津	14名	合計	160名
鶴居	17名	三光	18名		

6) 障がい者ミニデイ支援（鈴の音）

障がいのある方とボランティアがお互いに理解・尊重して、共に地域の住民として交流できる場として、社協として障がいのある方への支援に対するニーズ把握の場を目的として開催。

開催日数	11日		
実利用者数	21名	延利用者数	163名
実登録者ボランティア数	14名	延参加者数	104名
会議の開催	1回		

7) 安心生活支援事業（買い物支援事業：山国）

一人暮らし高齢者及び高齢者世帯に対して、訪問聞き取り調査を行い、その結果から「買い物したいが移動手段が無い」等の意見があり、見守りを兼ねた買い物支援事業を立ち上げ、平成23年11月から事業開始。

協力登録店舗	10店舗	
利用登録会員	38名	
買い物配達回数	362件	
買い物支援を行った販売金額	782,833円	*1回当たりの平均購入額 2,163円
実利用者数	18名	
買い物サロン（買い物バス支援）	3回	*7/17、前谷・春田サロン合同（27名） 10/21、裏谷サロン（17名） 3/25、上村・庄屋村サロン（23名）

9. ボランティア市民活動センター事業

1) ボランティア・市民活動センター事業

ボランティアコーディネーターを設置し、ボランティア活動の発掘と支援のための相談、連絡、調整、育成、啓蒙活動等を実施。

①ボランティア希望・募集・相談 201件

②夏のボランティア体験月間

市内の中高大学生を中心に、市内の施設等で福祉体験学習を実施。

(体験参加者数)	166名	(実施期間)	平成 25年7月22日 ~ 8月31日
一般	4名	(受入施設)	39ヶ所
大学・一般専門学生	11名		
高校生	110名		
小・中学生	41名		

③春のボランティア体験

(体験参加者数)	42名	(実施期間)	平成26年2月25日 ~ 4月上旬
高校生	42名	(受入施設)	21ヶ所
小・中学生	0名		

④市社協指定ボランティア推進校 11校

⑤ボランティア活動保険

ボランティア活動を行う個人・グループが安心して活動が行えるようボランティア活動保険の加入促進。

加入者数 3,120名

⑥ボランティア登録状況

社協登録のボランティアグループ・個人登録（各種講座及び研修会の案内、連絡調整他）

地区	団体会員数	団体数
中津	2,492名	109団体
三光	114名	9団体
本耶馬溪	265名	6団体
耶馬溪	256名	9団体
山国	329名	20団体
計	3,456名	153団体

個人登録 1,093名

10. その他社協事業

1) 福祉バス運行事業

地域福祉活動の円滑化と福祉充実を図るための福祉バスの運行事業。
運行回数 175回 延利用者数4,890名

2) 災害見舞金支給事業

市内に在住する世帯で、火災により家屋が全焼又は、半焼した世帯に対して、見舞金を支給。
対象件数 1件

3) 施設等管理運営事業

- | | | | | | | |
|------------------|-------|---------|------|--------|-----|-------------------------------------|
| ①中津市教育福祉センター | 延利用者数 | 41,325名 | 開設日数 | 303日/年 | 休館日 | 火、年末年始 |
| ②三光福祉保健センター | 延利用者数 | 10,733名 | 開設日数 | 248日/年 | 休館日 | 地域福祉センター 日祝、年末年始
保健センター 土日祝、年末年始 |
| ③本耶馬溪総合福祉センター管理棟 | 延利用者数 | 655名 | 開設日数 | 244日/年 | 休館日 | 土日祝、年末年始 |
| ④耶馬溪介護研修センター | 延利用者数 | 1,356名 | 開設日数 | 244日/年 | 休館日 | 土日祝、年末年始 |
| ⑤すぱーく耶馬溪多目的広場 | 延利用者数 | 1,196名 | 開設日数 | 287日/年 | | |

11. 各種共催・後援状況

1) 共催事業状況

今年度、共催事業なし

2) 後援事業状況

No.	開催期間	行事名
1	H25. 8. 4	第3回大分県盲人福祉（中津）大会
2	H25. 9. 7	音楽さあ来るin中津
3	H25. 9. 15	中津市身体障がい者協議会 球技大会
4	H25. 11. 20	2013年県北地区福祉のしごと就職フェア
5	H26. 3. 23	第5回中津市母子寡婦福祉連合会福祉大会「子どもの笑顔は親のパワー」

*その他

1) 中津市福祉の里づくりサポーター事業

65歳以上の中津市の介護保険第1号被保険者が、サポーター活動（ボランティア）を行うことによって、本人の健康増進・介護予防・社会参加・地域貢献を通じた生きがいを目的として実施。

サポーター登録者数	459人
受入機関登録数	96カ所

（高齢者施設、障がい者施設、児童施設）